平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- Ⅱ マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- Ⅲ スポーツを通じたインクルーシブな社会(共生社会)の構築
- : Ⅳ 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- Ⅴ スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 宮城県 】

1実践テーマ	
2実施対象者	南三陸町立志津川中学校
	全校生徒226名
3展開の形式	(1) 学校における活動
	① 教科名(保健体育)
	② 行事名 (オリンピック・パラリンピック講演会)
	③ その他 ()
	(2) 地域における活動
	① イベント名()
	② その他 ()
4 目標	オリンピックに携わった方々の想いや経験を学ぶことで、東京オリンピッ
	ク・パラリンピックへの関心を高めるとともに、オリンピック・パラリンピッ
(ねらい)	クを身近なものとしてとらえられるようにする。
5 取組内容	実践内容
5 170021 32	① 保健体育において
	オリンピック・パラリンピックの歴史について学び、創始者クーベルタン
	の想いを理解するよう努めた。
	・南三陸町でオリンピック・パラリンピックが開催されたと仮定して、その
	時に使われるエンブレムを考案した。
	8 世リジナルエンブルルを開えまり
	(OOO) miles
	② 学校行事において
	• 仙台市立鶴谷中学校 教諭 鮎貝志保先生による講演
	(鮎貝志保先生はサッカーの女子国際副審員の資格を取得し、アテネオリ
	ンピックではサッカーの試合に副審として参加なさいました。)
	演題「サッカーを通して学んだこと」
	・講演を通して、オリンピックについてはもちろん、審判の視点から試合中
	の審判の役割や注意すべき点などについて学んだ。
	• 講演を通して、他国の方々との付き合い方について学んだ。



事後学習

- 1保健体育科において
- ピョンチャンオリンピックが近かったこともあり、競技の動画を鑑賞させ ることで、より興味を深めさせることができた。
- フェアプレーについて考えさせることができた。また、その考えをスポー ツだけではなく普段の生活にも生かすように指導できた。
- ②学校行事において
- 講演を聴いた後、それぞれが感想や感謝の気持ち、または学んだことなど を作文した。



6 主な成果

- オリンピック・パラリンピックに対しての興味・関心が今まで以上に高まっ た。
- オリンピック・パラリンピックを今まで以上に身近なのとしてとらえられる ようになった。
- サッカーの試合を、審判の側からも意識して観戦できるようになった。
- スポーツの試合は、様々な方の支えがあって成り立っていることが理解でき
- 選手だけでなく、審判の方もトレーニングが必要なことを理解できた。
- 文化や考え方が異なる方とも、スポーツを通じて仲良くなれることが理解で

7実践におい て工夫した点 (事業の特 色)

• 自分たちの身近にもオリンピックで活躍した方がいることを認識できるよ うに、地元出身の方を講師としてお呼びした。

舎関票な主8

・年間指導計画の中に位置づけて、実施内容などについて計画的に取り組む必 要がある。

9来年度以降 特記事項なし の実施予定